

第 41 回土木計画学研究発表会（春大会）：2010.6.5～6（名古屋工業大学）  
企画セッション討議内容の記録

セッション名： 国際物流輸送の現状と課題	
日付： 6 月 5 日（土）曜日，セッション時間： 13:00 ～ 14:30	
オーガナイザー名（所属）： 竹林幹雄（神戸大学），柴崎隆一（国総研）	
討 議 内 容	（裏面に個別論文の講評を記述できる欄を設けております。必要に応じてお使いください。）
	① 荒木：中国の国際貿易動向に関する総計データ分析。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の単位についての議論：金銭以外にフレート・トンで整理</li> <li>・税関パターンについての議論</li> <li>・中国の貿易動向の外国への影響</li> <li>・トランパーの備船との関連の整理</li> </ul>
	② 秋田：西日本発着コンテナ貨物の対中国向経路選択 <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸，大阪を大きく優先する荷重の特性と，地元港を優先する荷主の特性の違い</li> <li>・地方港からのフィーダー料金の海上運賃への内生化的影響</li> <li>・海外トランシップにおける中国国内でのトランシップのデータの有無</li> </ul>
	③ 石原：西日本発着近海輸送市場の港湾選択分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸港，大阪港が過大に推計される傾向は昔からあった。この傾向の理由は？ → 海上運賃，バニング業者の影響</li> <li>・リーマンショックの影響は？ → 排除できないが，考慮でもできていない。</li> </ul>
	④ 柴崎：パナマ運河の拡張の影響 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテナは個数ベース</li> <li>・船舶数の制約はなし。</li> <li>・L/F も可変であり，実際的となっている。</li> </ul>

